

七小 ヤマメの飼育体験教室

3月10日(水)に子どもたちが育ててきたヤマメを黒沢川に放流しました。

昨年、11月4日(水)の飼育体験教室に25名の子どもたちが参加し、発眼卵を3粒ずついただきました。

参加児童は低学年の子どもたちが中心ですが、12月24日までの約50日間、休みの日を除いて毎日ビンの中のヤマメの観察と水替えに責任感強く取り組みました。その結果、ほとんどの卵がふ化し、その後移した水槽の中でもすくすくと大きく育ちました。特に今年度は、水槽を一回り大きくし、濾過機を強力な物にし、さらに毎日のように水替えをした結果、育つ過程で死ぬヤマメはほとんどいませんでした。子どもたちは、この取り組みを通して、体験教室のめあて「ヤマメのふ化から放流までを体験し、自然の大切さや生命の尊さを知ろう」を心に刻んだことと思います。



子どもたちが育てた約150匹のヤマメと、都立奥多摩さかなセンターから持ってきていただいた125匹のヤマメを合わせて、元気に大きく育つようにと願いを込めながら黒沢川に放流することができました。

なお、学校の水槽には30匹ほどを残し、秋まで大きく育てて参ります。(古川恵一郎)

おそき保育園 子どもたちの様子

コロナウイルス感染症に振り回された令和2年度、いろいろな行事が縮小、中止になってしまいました。そんな中でも子どもたちは日々、元気な姿を見せてくれ、子どもたちのパワーに大人が助けられています。おそき保育園では、感染症対策を行い、出来ることを子どもたちの思い出に残るように取り組んでいます。そんないくつかの保育の光景をご紹介します。

12月24日、保育園にサンタさんがプレゼントを持って来てくれました。小さい子はサンタさんに戸惑う表情を見せていましたが、プレゼントを見るとニコニコ笑顔に……。大きい子は朝からそわそわ！本当にサンタさん来るのかな？楽しみにしていました。



もう一つの写真は、お散歩の様子です。2歳児クラスですが急な階段も先生と競争するように登っていきます。小曾木地域には自然がたくさんあり、その自然の中、子どもたちはたくさん身体を動かし成長していきます。地域の皆様には温かい眼差しで子どもたちを見守って頂き感謝申し上げます。これからも地域の皆様と共に子どもたちの成長を見守っていただけると願っております。(天野恵利子)



六中 体力向上のためのトレーニング講習会

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、2月13日(土)にトレーニング講習会を実施しました。(株)クレマー・ジャパンから渡邊研氏を講師としてお招きし、「スポーツに求められる目の役割」について講習及び実技を行っていただきました。

瞬間的に状況を把握したり、広範囲の物を見たり、動いている物を見るなど「目」は大切な役割を担っていることがわかりました。コロナウイルス感染拡大防止のため部活動が中止となって、ストレスがたまっていた生徒もこの講習会で少しは発散できたようです。1日も早くコロナウイルス感染拡大が収まり、日常生活に戻ってくれることを期待しています。

(副校長 佐藤正和)



おそきウインドアンサンブル青樹

六中卒業生がメンバーに多く含まれる「おそきウインドアンサンブル青樹」。コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、9月6日に演奏会が羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」大ホールで開催されました。当日の様子は、第1部・第3部はダイジェスト版、第2部の知香さん(教員OGのものまね芸人)を招いてのPOPs selectionはフルバージョンがYouTubeでご覧になれます。



第2部



第3部